やきもののまち江別を PR する Web サイトの設計

北海道情報大学　石井真人，斎藤一，向田茂，三浦洋，西平順，前田隆

江別市とやきもの

やきもののまち江別

- 陶芸界の第一人者だった小森忍（1889-1962）が晩年窯を置き活動の拠点に
- 陶芸ブームの後押しもあり，数多くの窯元が活動

えべつやきもの市（1989-）

- やきもの文化に触れることでものづくりの心を培う
- 道内の作り手による陶芸品・ガラス・金属工芸品の販売
- 平成 18 年の来客数：約 11 万人，出展数：約 400 店舗

主催：えべつやきもの市実行委員会

http://www.yakimono21.org/ichi/

やきもののまち江別を PR

- 「北海道の観光」と「江別」が結びついていない
  - キーワード「北海道　観光」で「江別が検索できない」
  - 観光サイトが推奨する観光地に江別の名前がない
- 「やきもの」と「江別」も結びついていない
  - キーワード「やきもの」で検索結果の上位に江別がない

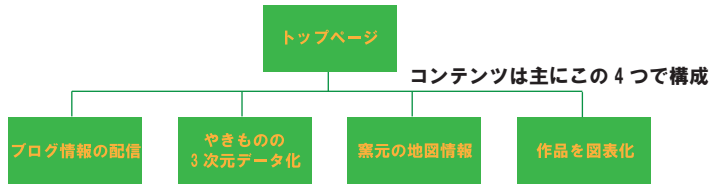
- 江別で観光できるモデルコースを発掘
- SEO（Search Engine Optimization）
  - キーワードの選定，やきものサイトからのリンク，html の最適化

やきものの魅力を伝えるサイトが必要

デザイン案

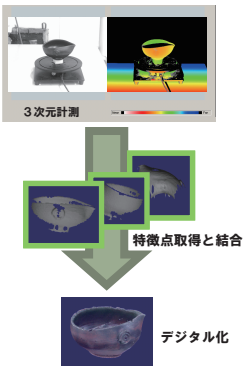
知人のウェブデザイナーと協議して作られたサイトのデザイン案

Web サイトのコンテンツ



GoogleMaps を利用した窯元情報

3 次元データの取得と加工

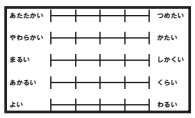


作品の図表化

主観的要素から類似度を視覚化

① やきものから受ける，温かい，冷たいといったイメージからキーワードを選出
② SD（Semantic Differential）法を参考にした形容詞のキーワード（やきものの属性）選定
③ ②のスコアを基に類似度を算出し，SOM(Self-Organizing Map) を用いて視覚化

SD 法を参考にしたキーワード



客観的要素から関係性を視覚化

「色の明度」，「作られた年代」，叩いたときの音の高低や表面の凹凸の粗さ等の「質感の平均値」を軸に取り，やきものの関係性を視覚化する

やきものに馴染みのない人にも直感的に作品の違いを理解してもらい，やきものの楽しみ方を学ぶ手助けとしてもらう

今後の課題

➤ 陶芸作家との協力関係を拡充

3 次元データ化したやきものに作品の詳細な情報を組み込んだデータベースの構築等の利用

本研究の一部は，平成 19 年度北海道情報大学学内共同研究費「非接触三次元計測装置によるデジタルアーカイブと教育教材の開発」により行われています．